

# 米奥小だより

令和8年10月7日(水)

No.22

米奥小学校 校長 北添 忠

## 〇稲刈り

9月26日(土)、運動会終了後の夜、雨が降り始め、稲刈りを予定していた29日(火)まで続きました。予定より一日遅れの9月30日(水)、天気は晴れ。田んぼの状態が気になり見に行くと、すでに支援してくださる坂本さんが準備をしていました。心配していた田んぼの土の状態も安定しており、この日の午後、稲刈りを実施することができました。



少し暑かったとは言え、秋らしい風が吹き、絶好の稲刈り日和となりました。子どもたちは刈り方の説明を受けた後、鎌を片手に持って稲刈りをスタート。上級生は慣れた様子でどんどん刈っていきました。下級生も、刈る瞬間にグッと力を入れて、頑張っている様子でした。毎年、「鎌で怪我をしないでね」と心配になるのですが、子どもたちは慣れたものでした。それでも、田んぼの中に鎌を置いたままにしたりして、ある上級生が「こんなところに鎌を置いたらいかんろう」などと言いながら、安全な場所に置きなす姿がありました。

刈った稲は、その場でコンバインを使って脱穀しました。最初からコンバインだけで刈り取り・脱穀をしまえば30分ほどで終わる作業を、あえて子どもたちに稲刈りと脱穀の体験をさせる取り組み。農業、食育、キャリア、歴史など、たくさんの視点を持って取り組んでいます。米や野菜などを育てている様子は身近に見ることができる米奥ですが、収穫などの体験を学校以外でした



ことのある児童は少ないと思います。バーチャルが普及し、逆に実体験が重視される世の中になりつつあります。米奥小学校はこれからも、さまざまな体験を保護者や地域の協力のもと、行っています。

## 〇ツリーハウス用の木の伐採

今年の山の体験学習の一つとして、「グラウンドの木に簡単なツリーハウスを作る」取り組みを進めています。10月の特活参観日でツリーハウスのイメージを子どもたちが話し合い、11月の収穫祭・山の活動で保護者や地域の方々の協力を得て、ツリーハウスを作る計画です。その時に使う木を1本、学校の近くで10月1日に伐りました。伐ったばかりの木は水分を多く含み、大変重いので、早めに切り倒し、葉をのこしたまま1か月以上放置することで、蒸散が進み、少し木が軽くなることを期待しています。児童が考えたツリーハウスのイメージを10月末の学校運営協議会で共有し、11月14日(土)の製作へとつなげる予定です。



## 〇避難訓練・起震車体験

10月2日(金)に地震避難訓練と起震車体験を実施しました。今回の避難訓練は、校舎内の廊下の一部が通れない設定で実施しました。子どもたちはその状況を判断し、別のルートを通してグラウンドの中央まで全員が避難できました。

その後、城ハナ公園に移動し起震車体験を実施しました。最初に震度6を体験し、続けて震度7を体験しました。私も体験しましたが、震



度7の揺れはカエルのポーズをとっていても姿勢を保つのが大変なほどの揺れでした。担当者の方

からは、地震がいつ来てもいいように、心の準備と家具の固定など生活環境の準備が大切だとの話がありました。

